

## 令和6年度家畜人工授精（めん羊及び山羊）に関する講習会実施要領

独立行政法人家畜改良センター理事長

独立行政法人家畜改良センター（以下「センター」という。）において行う家畜改良増殖法第16条第2項に基づいた家畜人工授精（めん羊及び山羊）に関する講習会の実施要領を下記のとおり制定する。

### 記

#### 1. 目的

めん羊及び山羊（主としてめん羊）の飼養者、農業団体職員等を対象として、家畜改良増殖法第16条第2項に基づく家畜人工授精（めん羊及び山羊）に関する講習会を開催し、受講者等を通じて本技術の普及を図り、我が国のめん羊の生産振興に資するものとする。

#### 2. 家畜の種類          めん羊及び山羊      （但し実習はめん羊を用いて行う。）

#### 3. 講習会の開催場所

（学科及び実習）

家畜改良センター十勝牧場

〒080-0572      北海道河東郡音更町駒場並木8番地1

TEL    0155-44-2131

#### 4. 講習会の開催日程（別添「実施計画」参照）

（学科および実習）

令和6年9月30日～10月18日（17日間；10月6日、13日を除く）

（修業試験）

令和6年10月18日

#### 5. 講師氏名及び担当科目

別添「実施計画」参照

#### 6. 受講予定人員    10名程度

## 7. 参加資格

めん羊及び山羊（主としてめん羊）の飼養者、学生、農業団体職員等で将来にわたってめん羊、山羊の人工授精及び改良増殖を行う予定のある者。

## 8. 修業試験の合格基準

修業試験の合格基準は、100点満点で全科目（実習を含む。）平均60点以上（50点未満の科目が2以上ある場合、又は40点以下の科目がある場合を除く）とする。

## 9. 修業試験の合格証明書の交付

本講習会の全課程（免除科目があるものは免除されるもの以外の科目）を修了し、修業試験に合格した者に対しては、家畜改良センター理事長（以下「理事長」という。）より合格証書を交付する。

## 10. 講習会に係る費用

講習会受講料は無料とする。ただし、テキストに係る費用並びに免許申請（都道府県知事あて）に係る費用は本人負担とする。

### 11. 応募手続き等

受講希望者は別添の受講申込書（様式1）により開催の6週間前までに家畜改良センター十勝牧場長（以下「十勝牧場長」という。）あてに直接提出（郵送も可）するものとする。

十勝牧場長は、受講希望者について所要の審査を行い、理事長に報告するとともに、当該希望者に受講の諾否を通知するものとする。

その他講習会の運営に必要な事務連絡等については、十勝牧場長が適宜理事長と協議して、講習会の円滑な運営を確保するものとする。

### 12. その他

講習開催時期の家畜疾病発生状況等により、講習実施に感染拡大の危険が伴うと判断した場合は本講習会を中止する場合がある。その場合は、家畜改良センター十勝牧場のHPで通知するとともに、受講希望者へは個別に連絡する。

### 13. 本講習会に関する問い合わせ先

家畜改良センター十勝牧場 業務第二課（森田・梅津）

〒080-0572 北海道河東郡音更町駒場並木8番地1

TEL 0155-44-2131

FAX 0155-44-2215

令和6年度 家畜人工授精(めん羊及び山羊)に関する講習会実施計画

1. 期 日 令和6年9月30日(月)～10月18日(金)

2. 場 所 独立行政法人 家畜改良センター十勝牧場

住 所 〒080-0572 北海道河東郡音更町駒場並木8番地1

TEL 0155-44-2131 FAX 0155-44-2215

3. 講習会日程

月日(曜日)	時 間	科 目		内 容
9月30日 (月)	8:50 ～ 9:00	開講式		
	9:00 ～ 12:00	講義	家畜の飼養管理 (3 時間)	1 家畜に対する環境の影響 2 畜舎等畜産施設の種類及び特性 3 一般的飼養管理方法
	13:00 ～ 16:00	講義 試験	家畜の栄養 (3 時間)	1 家畜における消化及び吸収の仕組み 2 飼料の種類及び特性 3 飼料の配合及び給与
10月1日 (火)	9:00 ～ 17:00	実習	家畜の審査 (7 時間)	1 家畜の体尺測定 2 体型審査
10月2日 (水)	9:00 ～ 18:30	講義 試験	繁殖生理 (13 時間) 種付けの理論 (4 時間)	1 繁殖機能に係るホルモン及び神経 2 性ホルモンの種類及び作用 3 繁殖の周期性及び性成熟 4 発情周期に伴う生殖器及び行動の変化 5 受精及び受精卵の発育 6 胚、胎児の発育及び妊娠による母体の変化 7 分娩の経過及び分娩後の繁殖機能 8 射精の機序 9 繁殖障害の概念及び原因
10月3日 (木)	9:00 ～ 18:30			1 雌生殖器内における精子及び卵子の移動 及びその機能の変化 2 授精 (交配) 適期
10月4日 (金)	8:00 ～ 12:00	実習	家畜の飼養管理 (4 時間)	1 家畜の取扱い及び家畜の手入れ 2 畜舎等畜産施設の管理及び取扱い 3 飼料給与
	13:00 ～ 18:00	講義 試験	関係法規 (5 時間)	1 家畜改良増殖法 2 家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律 3 家畜伝染病予防法 4 獣医師法
10月5日 (土)	9:00 ～ 18:00	実習	精液精子検査法 (8 時間)	精液及び精子の検査法
	18:00 ～ 20:00	実習	発情鑑定 (6 時間) ①	発情の発見及び鑑定
10月6日 (日)	休 日			
10月7日 (月)	9:00 ～ 17:00	講義 試験	家畜の育種 (7 時間)	1 家畜の遺伝の原理 2 家畜の主要形質の遺伝 3 家畜の選抜方法及びその特徴 4 家畜の交配方法及びその特徴 5 能力検定 6 家畜の登録制度

10月8日 (火)	9:00 ~ 12:00	講義	生殖器解剖 ( 5 時間)	1 生殖器の形態及び機能 2 精子形成及び卵子形成
	13:00 ~ 19:00	実習	生殖器解剖 ( 4 時間)	生殖器の解剖
10月9日 (水)	9:00 ~ 13:00	講義 試験	畜産概論 ( 4 時間)	1 我が国畜産の沿革及び特徴 2 家畜の主要品種の特徴 3 主要畜産物 (乳・肉等) の生産に関与する要因 4 家畜飼養管理とアニマルウェルフェア
	14:00 ~ 18:00	実習	発情鑑定 ( 6 時間) ②	発情の発見及び鑑定
10月10日 (木)	9:00 ~ 17:00	講義 試験	精子生理 ( 7 時間)	1 精液量及び精子数並びに精液の理化学的性状 2 精子の形態及び構造 3 精子の機能 4 精液性状及び精子機能に関与する要因
10月11日 (金)	9:00 ~ 18:30	講義 試験	家畜人工授精及び家畜人工授精用精液の保存 ( 1 7 時間)	1 人工授精技術の発展の歴史 2 人工授精の意義及び得失 3 精液の採取 4 精液及び精子の検査 5 保存液の特性及び精液の希釈 6 精液の液状保存及び凍結保存 7 精液の注入 8 人工授精用器具等の種類及び特性 9 消毒の原理及び方法
10月12日 (土)	9:00 ~ 18:30			
10月13日 (日)	休 日			
10月14日 (月)	8:30 ~ 12:00 13:00 ~ 19:30	実習	人工授精及び家畜人工授精用精液の保存 ( 4 5 時間)	1 精液の採取法 2 保存液の調整及び精液の希釈法 3 精液の液状保存法及び凍結保存法 4 精液の注入法 5 人工授精用器具等の取扱い 6 消毒の方法 7 人工授精関係帳簿及び証明書の記載方法
10月15日 (火)	8:30 ~ 12:00 13:00 ~ 19:30	実習		
10月16日 (水)	8:30 ~ 12:00 13:00 ~ 19:30	実習		
10月17日 (木)	8:30 ~ 12:00 13:00 ~ 19:30	実習		
10月18日 (金)	9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 15:00	実習		
	15:00 ~ 17:00	試験	修業試験/免許の申請について	

※日程・講師・内容等は都合により変更されることがあります。

様式 1

家畜人工授精（めん羊・山羊）に関する講習会  
受 講 申 込 書

令和 年 月 日

独立行政法人

家畜改良センター十勝牧場長 殿

住 所

機 関 名

代表者名

標記の件に関し、受講したいので下記のとおり申し込みます。

ふ り が な 受講希望者氏名		年 月 日生（ 歳）	
所 属	機 関 名		
	住 所	(TEL )	
職 業			
現 住 所		(TEL )	
略 歴  (最終卒業学校 名・卒業年次)			
受講及び修業試験 の免除等  注) 受講の免除を受けようとする場合は、 大学等がそれを証明 する書面を添付する こと		特定科目、人工授精概論の受講の有無（○で囲む）  a．全部受講  b．一部受講  c．受講なし	

\*最終卒業学校名・卒業年次は、修業試験に合格した場合、名簿に登載が義務付けられている事項ですので必ず記入してください。